

# 連携で オンリーワンとくしまを目指そう

## Only One Tokushima

徳島県知事  
飯泉 嘉門



飯泉 嘉門 いいすみ かもん

生年月日 昭和35年7月29日  
 昭和59年4月 旧自治省入省  
 平成13年4月 徳島県商工労働部長  
 平成14年4月 徳島県県民環境部長  
 平成15年5月 徳島県知事

私は今年の5月に徳島県知事に就任いたしました。それ以前、平成13年度は商工労働部長、14年度は県民環境部長として、徳島県庁で勤めておりました。いずれも、産学官連携や、情報通信技術関係を所管している部局であり、その点で、当時から、徳島大学とは積極的な交流をさせていただいていた参りました。特に、商工労働部長時代、齋藤則学長さん共々、関係各方面に出向き、私自らプレゼンテーションを行った文部科学省の知的クラスター創成事業が、1年間の試行地域指定を経て、本格的実施地域に指定されるかたちで結実したことは、まさに、徳島大学と共働で成し得た成果と、非常に感慨深いものがあります。

徳島大学と県とは、昨年度に徳島地域連携推進協議会を立ち上げ、また今年度からは地域貢献特別支援事業が文部科学省に採択されるなど、従来の「産業」以外に「地域」をターゲットにした連携にも取り組み始めています。これは大学の資源を地域に効果的に還元するとともに、徳島という地域の特徴を科学的に解析することで思わぬ「宝」を発見する可能性も大きく、県としても積極的に進めていきたいと思っています。

一方、医学・栄養化学分野でCOEプログラムに採択されるなど、徳島大学独自の研究レベルの高さは瞠目するものがあります。今後、より高度なレベルでの解決を求められる県政の課題、例えば南海地震対策やバイオハザード、ケミカルハザードの問題などにおいて、これらをどのように応用していくかについての検討が重要となって参ります。

来々年4月の独立行政法人化を目前にして、大学も競争力をつけることが求められていると思いますが、その際、大きなアドバンテージとなるのは「唯一無二ではないかと考えます。全国の大学の中で徳島大学にしかできないこと、徳島でしかできないことを伸ばしていただき、独立行政法人化を「連携促進のための好機」とポジティブに捉え、ともに絶対優位の「オンリーワン徳島」を目指して前進していければ、と考えております。徳島大学の今後一層の飛躍をご期待申し上げます。

